


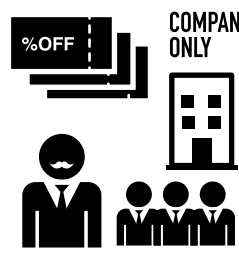
withコロナ下における飲食店での節度を持った食べ方マナーの 定着は、行政がリーダーシップを発揮すべき。



村上栄二の提案

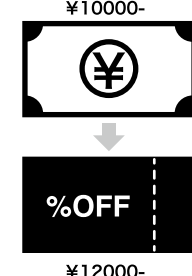
企業市民から
withコロナ
アプリを活用!

1




企業しか買えない
【飲食店支援デジタルクーポン】
を発行

2



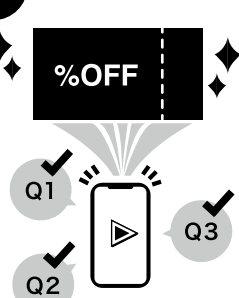
(例) 10000円で12000円
市が独自にプレミアムをつける

3



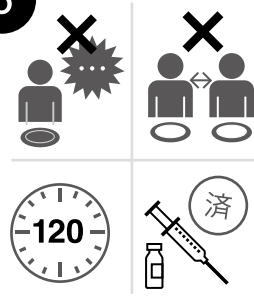
企業の名前を背負って会食する
事でコンプライアンスを確保

4



動画をまず1分間流し、質問3つ
正解でQRクーポンを発行

5



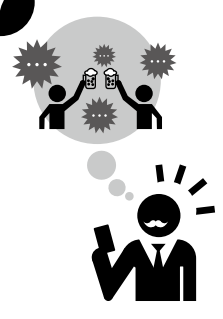
食べ方、音量静かに、120分以
内、4人以下、過半数がワクチン
接種者

6



店では店内BGMボリュームを
下げて騒音測定器を設置

7



騒音測定器の一定の音声を超え
ると企業責任者に報告がいく

過去の経済レポートを踏まえると…

- 「GOTO前から全国的な感染拡大を懸念して地域企業が地域で経済を動かすべき」と提案したが結局、国はGOTOを全国規模で行い、感染が全国拡大した経緯から今回こそは段階的に取り扱うべき。
- 11月から噂されるワクチンパスポートによるGOTO使用を前に、福山市が一刻も早く独自政策として「地域経済を回す仕組み・事業化」を提示・実施する事で国や県に模範を示すべきではないか。
- 観光関連事業従事者や飲食店従業員の雇用環境と健康管理を守るためにもルール・基準を見える化する「騒音測定器の導入」が必要ではないか。
- 「withコロナ下での外食マナー」の定着は、その運用を全て民間まかせにするのではなく、行政がイニシアティブをとるべきではないか。

2020年
7月10日号



2021年
2月10日号

